

2012.03.27

「マクロ経済をまったく理解していない安住大臣」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は3月27日です。先程、財政金融委員会に行って参りました。本日、私は安住財務大臣、白川日銀総裁、自見金融担当大臣に質問をしてきました。この様子を、もうどなたかがニコニコ動画やyoutubeにアップしてくださっているのでは是非御覧になって頂きたいと思います。今回は消費税率の引き上げを中心に安住大臣達に問いただしてきましたが、彼らは全くマクロ経済がわかっていない、ということがいよいよ明らかになりました。

まず、私は安住大臣に消費税を上げる理由は何か、と聞いたのです。安住大臣の答えは毎年の社会保障費が一兆円ずつ増えていく、その分の負担をして頂こう、との理由でした。この理屈はいいのです。我々自民党も言ってきたことです。しかし問題は、以前それを我々が言っていたときに、彼らが反対していたということなのです。民主党はむしろ、上げなくても他の無駄を削減すれば、16～18兆円のお金が出てきて、子ども手当などの様々な施策ができると言ってきたのです。本来、安住大臣が言っているように、社会保障費といった経常的支出に対しては恒常的財源が必要です。だから消費税を上げることが必要なのです。ところが、彼らの主張した子ども手当、農家の個別補償、高速道路無料化等も経常経費なのです。だから、経常経費については恒常的財源が必要はずで、このことをマニフェスト上できちんと言っていたかと言えば、言って

いないのです。安住さんもうとうとう最後に認めましたけれども、結局は特別会計を見直す等をしてつなぎ合わせで財源を賄ってきたのです。ところが、経常的経費には恒常的財源が必要だというのは当たり前の話で、なぜマニフェストに恒久的財源、すなわち消費税増税がなかったのか、と私が問いただすと安住大臣は言葉を窮しておりました。結局、そのときは野党だからわからなかったと出鱈目を言っていました、そうじゃないのです。野党であろうが与党であろうが経常的経費にたいしては恒久的財源が必要だというのは当たり前の話なのです。騙してでもとにかく、その場しのぎでやればいいと彼らはやってきたのです。これは AIJ と同じでまさに詐欺的手法で選挙を行い、未だにまだその反省をしていないということが明らかになったのです。

そして、その上で私が申しあげておきたいのは、今の財政状況を良くする為には借金を返していく為には税収を上げなくてはならないということです。結局は、経済を拡大しなくてはならない、という話なのです。どうすれば経済は良くなるのかと言えば、結局は需要を大きくしなくてはならない。そのためには民間の需要も大きくなってくればよいということで、日本銀行は民間にお金をどんどん出しているわけです。銀行から国債を買うという形でお金をどんどん出している、金利も下げている。白川日銀総裁とも話していますが、それでも何故民間の景気が良くならないのかと言えば次のようなことなのです。

金融の世界には次のような格言があります。馬を水辺に連れていくことはできるけれども、水を馬に飲ませることはできない。つまり、金融の力で馬、つ

まり民間企業を水辺に連れていくことはできるけれども、水を飲むかどうかは金融の力ではどうにもできないのです。馬である民間企業や銀行が自分で飲もうという意思がなければ水を飲まないのです。今はまさに、このような状況で水を目の前に示しても馬が飲まない。何故水を飲まないのかと言えば、今水を飲んじゃって本当にいいのかな、身体をこわさないのかなと心配しているのです。言い換えると、自分達が借金をしても返せるのかな、景気は悪くならないのかな、という心配があるのです。民間銀行に水を飲む気がおこらないのはこのような経済状況だからなのです。

じゃあ、このような状況でどうすればいいのか、と私は質問致しましたけれども、安住大臣は全く頓珍漢な答弁をしています。私がある時言ったことは、馬を水辺に連れて行っても水を飲まない時は隣の牛が飲んであげる必要があるのです。これはどういうことかということ、馬（民間企業）がいくら水を目の前にしても飲まない環境にあるのならば、牛（公的部門）が水をどんどん飲んで需要を掘り起こしていく。それを見ていると馬も、そうか、隣の牛がこれだけ水を飲んでもお腹を壊さないのだから、我々馬も水を飲んで元気をつけていこうじゃないか、となるのです。こういうたとえ話をしてきたのですが、まさに民主党がやろうとしていることは、馬を水辺に連れていくこともしなければ牛の役割をするべき自ら水を飲むこともしない。やっていることはひたすらデフレをつくることのみなのです。法人税を減税して民間にお金を回していけば良いのだという論理を言っていますけれども、今は貯蓄性向がとても高いので

す。つまり、民間はお金を使うのではなく貯める方向で動いている。現に、この 20 年間ずっと消費、投資といった部分が小さくなっている。このようなときに減税をして、企業の手元にたくさんお金が生まれたとしても、その多くをためこんでしまう。ですからこのようなときには、日本銀行の金融政策や民間の活力に頼るだけではなく、自らが雇用を生み出していく政策をしていかなければならないのです。

以上のようなマクロ経済全体の話今日の財政金融委員会を通じて安住大臣に質問してきたわけですが、まったくこの方は以上のような話を理解されていませんでした。私はもう一度財政金融委員会、今週の木曜の午前中ですが 40 分ばかり質問をして、マクロ経済が分かっていない民主党政権が、どうやって財政運営ができるのか、増税ばかりに頼ってどうやって GDP が拡大できるのか、どうやって財政再建ができるのかという根本的なことを問いたしたいと思います。是非皆様方にも今週の木曜日にやりますので見て頂きたいと思いますが、先程申しましたように、本日の質問もすでにニコニコ動画や youtube にも up されていますので、是非ともこちらもご覧になって頂きまして、民主党政権の出鱈目をご理解して頂きたいと思います。本日も御覧になって頂きありがとうございます。